

第六十五回 帝國議會 貴族院 昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案 特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

昭和七年法律第一號中改正法律案

滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案

大藏省預金部特別會計法中改正法律案

委員氏名

委員長 侯爵松平 康昌君

副委員長 西野 元君

子爵舟橋 清賢君

子爵綾小路 護君

男爵井田 磐楠君

男爵深尾隆太郎君

菅原 通敬君

佐々木八十八君

澁澤 金藏君

昭和九年三月九日(金曜日)午前十時十九分開會

○委員長(侯爵松平康昌君) 委員會ヲ開會

イタシマス、當委員會ハ御承知ノ通り、昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、昭和七年法律第一號中改正法律案、滿洲事件ニ關スル一時

賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案、大藏省預金部特別會計法中改正法律案、此四件ガ付託ニナツテ居リマス、之ヲ纏

メマシテ初メニ政府當局ノ説明ヲ聽イタラ如何カト思ヒマスガ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵松平康昌君) 又只今大藏大

臣ハチヨット御差支デ今直グオ出マシニナ

レヌヤウナ按排デゴザイマスガ、大臣ニ御

質問御希望ノ方ハゴザイマセヌカ、ゴザイ

マスレバ、今モウ一應政府ノ御都合ヲ聽キ

マスカラ……

〔菅原通敬君〕必要ナ時分ニオ出デラ

願ツタラ如何デス〕ト呼フ

○委員長(侯爵松平康昌君) ソレデハ免モ

角モ政府委員ノ御説明ヲ煩シマス

○政府委員(津島壽一君) 只今御審議ニナツ

テ居リマスル法律案ニ付キマシテハ、本會

議デ大藏大臣カラ一應ノ御説明ヲ申上ゲタ

ノデアリマシテ、更ニ簡單ニ提案ノ趣旨ダ

ケラ此場合ニ申上ゲマス、第一ノ昭和九年

度ノ一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲ニ發行

スル公債六億六百九十萬圓ト云フモノノ起

債權能ヲ得ルト云フノガ目的デゴザイマス、

是ハ所謂赤字公債ト申シマスモノデ、一般

會計ニ於テ歲入ノ不足ヲ補填スル爲ニ必要

ナル金額ヲ豫算ニ計上シ、此豫算ノ金額ニ

相當シタル起債ノ法律ヲ制定スルト云フコ

トガ目的ニナツテ居ルノデアリマス、尙ホ此

昭和九年度ノ歲出ニ於キマシテモ、其中若

干ノ金額ハ例年ノ如ク翌年度ニ繰越サレル

結果ニナルト存ジマスカラ、此繰越額ノ財

源ハ必シモ九年度内デ起債ヲスルト云フコ

トヲ必要ト致シマセヌデ、之ヲ翌年度ニ於

テ募債シ得ルト云フヤウナ規定ヲ設ケルコ

トニナツテ居リマス、大體此程度ニ御説明申

上ゲテ、後ハ御質問ニ依ツテ更ニ御答ヘス

ルト云フコトニ致シタイト考ヘマス、第二

ノ法律ハ、滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲

ノ起債權能ヲ得ル法律デゴザイマス、既ニ

第六十一議會、第六十二議會、第六十四回

ノ帝國議會ニ於テ、此事件ニ關スル經費ノ

財源ニ充ツル爲ノ公債ヲ發行シ得ルト云フ

法律ガ成立ヲ見テ居リマス、昭和九年度ニ

於テ、此經費ノ爲ニ約一億五千九百十萬圓

ヲ追加スル必要ガアルノデゴザイマシテ、

今日ノ財政ノ下ニ於テハ、是ハ他ニ財源モ

ゴザイマセヌノデ、公債財源ニ依ルト云フ

コトニナツテ居ルノデアリマス、從テ是ガ爲

ニ昭和七年法律第一號中ノ改正ヲ必要トシ

テ、茲ニ其金額ヲ四億九千百萬圓カラ六億

五千十萬圓ニ増額スル、斯ウ云フノガ第二ノ

法案ノ趣旨デゴザイマス、更ニ第三ノハ此

交付公債ノ法律デゴザイマス、此交付公債

ノ法律ハ、滿洲事件ニ關シマシテ一時賜金

トシテ交付イタシマスル所謂行賞賜金、其

中デ現金ノ支出ヲ致シマスモノヲ除キマシ

テ、交付公債ノ形式ヲ以テ交付イタシマス

ルモノガ四千八百七十餘萬圓ニナツテ居リ

マス、此交付公債ニ關シマシテ、其權能ヲ

得ル爲ニ此法律ガ提出サレタ譯デアリマ

ス、尤モ金額ハ端數ヲ繰上ゲマシテ、發行

總額ヲ五千萬圓ト云フコトニ致シテ

居リマス、是ハ額面百圓ニ付キ九十八圓

ノ割合デ計算シテ四千八百七十餘萬圓ニナ

リマス、ソレヲ繰上ゲマシテ五千萬圓ト云

フコトニ致シタノデゴザイマス、最後ニ預

金部ノ特別會計法中ノ改正法律案ハ、是ハ

極メテ簡單デゴザイマシテ、現在ノ規定ノ

中ニハ預金部ノ支出ニ於テ營繕費ト云フ項

目ガゴザイマセヌ、大藏省預金部特別會計

ガ段々事業ノ發展増加イタシマスニ付キマ

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

ス

シテ、其事業遂行上必要ナル所ノ營繕事業ハ、此會計ノ負擔ト致シマシテ預金部會計カラ支出スルト云フコトニ致シタイト考ヘマシテ、別途昭和九年度ノ豫算ノ上ニ於テモ此金額ハ計上サレテ居リマスルガ、ソレニ相應シテ特別會計法中改正法律案ヲ出シマシテ營繕費ト云フモノヲ費目ニ加ヘル、斯ウ云フ案デゴザイマス、尙ホ極メテ簡單デゴザイマシタノデスガ、御質問ニ應ジマシテ更ニ詳シク御説明イタシタイト存ジマス

○委員長(侯爵松平康昌君) 御諮リヲ致シマスガ、便宜上今ノ政府委員ノ説明ノ順序ニ於ケル一二三、此三ツハ公債ト云フ點ニ付テハ共通デアリマスガ、先ヅ其三ツニ付テ御質問ヲ願フコトニ致シマス、ソレカラ最後ニ更ニ分ケテ願フコト如何デスカ、御異議ゴザイマセヌカ

○委員長(侯爵松平康昌君) 左様ニ致シマス

○菅原通敬君 私ハ参考書ヲ一ツ御願ヒシタイノデスガ、大分参考書類ハ頂戴シテ居リマスガ、其中ニハ餘リ必要ノ無イモノモアルヤウデアリマスガ、此公債ノ現在額表が見エナイヤウデアリマス、之ヲ一ツ頂戴イタシタイ、其現在額表ニハ種類別ニ現シ

テ載イテサウシテ償還期ヲ現シテ載キタイ、ソレダケ御願ヒ致シマス

○男爵深尾隆太郎君 公債ノコトデチョット御尋ネシタイト思ヒマスガ、或ハ是ハ今菅原サンノト同ジニ参考書トシテ御調べノ上御提出願フテモ宜イノデスガ、是ハ甚ダ漠トシタコトデアリマスガ、公債ヲドノ位發行シテモ市場ヲ壓迫シマスotka、或ハソレニ公債ガ日本銀行ガ抱込シテ通貨ガ非常ニ膨脹ニナツテ、其結果惡性ノ「インフレーション」ニナルダラウカト云フコトニ付テハ始終大藏當局デ御心配ニナツテ居ルコトト思フノデスガ、凡ソ其見當ヲ付ケル材料トシテ多分御調べニナツテ居リハシナイカト思フノデ御尋ネスルノデスガ、ソレハ國民所得、現在一箇年ニ日本ノ國民所得ハドノ位ダラウト御考ヘニナツテ居リマスカ、是ハ勿論極ク想像シタ數字デアルト思フノデスガ、サウ云フコトモ何レ凡ソ斯ンナモノダト思フト云フヤウナ御見當ガ付イテ居リハシナイカト思ヒマス、若シソレガ付イテ居リマシタラソレヲ御知ラセ願ヒタイ、ソレカラ國民ノ貯蓄、國民所得ノ中カラドノ位國民ガ貯蓄ニ向ケテ居ラウカト云フコト、此國民ノ貯蓄ガ資本……投資額ニナツタリ、若クハ公債ノ引受ノ力ニナルダラウ

ト思ヒマス、ソレカラ資金ノ回轉ノ速度、一箇年ニドノ位資金ヲ廻轉シテ居ルト云フヤウナ御見込ニナツテ居ルカ、此三點ヲ勿論是ハ正確ナ數字デ出ルベキモノデナク、大藏當局ノ感ジデ、斯ンナコトダラウト御考ヘニナル數字デ結構デゴザイマス、只今御持合セゴザイマセヌデシタラ此次ノ機會ニデモ御示シ願ヒタイ

○政府委員(津島壽一君) 只今此國民所得、國民ノ貯蓄ト云フノハ大體調ベタノガゴザイマス、第三ノ此資金ノ廻轉ノ速度ト云フノハ色々見方ガアルト思ヒマス、ソレハ一應能ク考究イタシマシテ、マア出來ルダケ其御趣旨ニ添フヤウナ御答ヲスルヤウニシタイト思ッテ居リマス、其外ノハッキリシタ調査ハゴザイマセヌ

○男爵深尾隆太郎君 私ハ多分御了解下スツテ居ルト思ヒマスガ、詰リ一箇年ニ十回廻轉スルトカ十二回廻ルモノダト云フヤウナ意味ノコトデス

○西野元君 所謂赤字公債ナルモノノ昭和八年度マデノ發行總額ハ何程ニナツテ居リマスカ、ソレト今回御提案ニナツタモノト加ヘマシテ、法定ノ發行制限額ト云フモノハ累計幾ラニナツテ居リマスカ、チョット伺ヒタイ

○政府委員(津島壽一君) 昭和七年度ニ於キマシテハ發行豫定額ガ三億五千八百九萬六千六百六十二圓ト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ昭和八年度デハ二回ゴザイマシテ、昭和八年法律第三號ト昭和八年法律第二十三號トゴザイマスガ、第三號ノ方デハ六億七千七百一萬三千四百一圓、法律第二十三號ノ方デハ六百三十萬圓、合セマシテ昭和八年度ニ於テハ六億八千三百三十一萬三千四百一圓、昭和九年度ハ今日御審議ヲ願フ居ル金額即チ六億六百九十萬圓、ソレカラ更ニ目下衆議院ニ於テ審議中ノ此追加豫算ノ中デ、千六百七十六萬七千五百五十二圓、是ハ農村振興ノ爲ニ此追加豫算トシテ赤字公債ヲ發行スル、デアリマスカラ此本日ノ御審議ヲ願フ居ル方ト、千六百七十六萬ト云フ目下衆議院ニ於テ審議中ノモノヲ合セマス、本年度ノ所謂赤字公債ト申シマスノハ、六億二千三百五十九萬二千三百七十一圓、斯ウ云フコトニナリマス、從テ之ヲ總計イタシマスと云フト、七年度乃至九年度ニ於ケル發行豫定額ハ十六億五千七百七十九萬圓バカリニナリマス

○菅原通敬君 七年度ハ……

○政府委員(津島壽一君) 七年度ハ三億五千八百九萬……

○菅原通敬君 宜シウゴザイマス

○政府委員(津島壽一君) 六千六百六十二圓

○菅原通敬君 チョット伺ヒマスガ、三億二千二百萬ト私ノ記帳ニ書イテアリマスガ、ソレニ加ハッタノデアリマスガ

○政府委員(津島壽一君) 昭和七年度デゴザイマスガ

○菅原通敬君 ハイ、私ノ書イテ居ルコトガ間違デセウカ、何カ一遍サウ云フ記録ガアツコトガアリマス

○政府委員(津島壽一君) 追加ガアツノデハナイカト思ヒマス、チョット一應モウ少シ正確ナコトヲ調べテ見マス

○菅原通敬君 昭和七年度ノ豫算綱要デアリマスガ、後カラ何カ書イタモノヲ大藏省デ御出シニナリマスナ、大藏省ノ記録ニ依ッテ私根據アルモノヲ書イタノダガ、其後デ變更シタカ知レマセスガ……

○政府委員(津島壽一君) 只今ノ其計數ハ外ニ何カアリマスガ、能ク調べテ参リマス、發行濟額トハ違ヒマスガ、發行濟額……

○菅原通敬君 イヤ發行スベキ額デス

○政府委員(津島壽一君) デハ能ク調べテ参リマス

○西野元君 茲ニ滿洲事件行賞賜金ニ關ス

ル總體ノ參考書ヲ頂戴シテアリマスガ、其内容ニ付キマシテ、チョット不明ノ點ガアリマスノデ伺ヒタイト思ヒマス、此書類ニ依リマス、人員ガ五十一萬人ト云フノガ茲ニ出テ居リマスガ、是ハ全體デアリマセウカ、五十一萬人ノ外ニ尙アトノ方ニ約七萬人ト云フコトモ書イテゴザイマスノデ、全體ヲ綜合シタ計數ガ甚ダ此書類ニ不明ナノデスガ、ドウ云フ風ニナッテ居リマスガ

○政府委員(荒川昌二君) 御手許ニ差上ゲマシタ滿洲事件行賞賜金ニ關スル調ト申シマスルノハ、實ハ衆議院ノ委員會ニ於キマシテ、斯様ナ事項ニ依ッテ御要求ガアツモノデゴザイマス、從ヒマシテ多少御覽ニクイ點ガアラウカト思ヒマスガ、只今ノ御質疑ノ人員ノ點デゴザイマスルガ、最後ノ此表ノ(ホト)云フ所ニ大體人員別ニ書イテゴザイマス、ソレハ勳章、又ハ賞杯賜與見込ハ約二十八萬八千人ゴザイマス、ソレカラ賜金賜與見込人員ガ五十八萬五千、其内賜金ガ三十二萬六千人、慰勞金ガ二十五萬九千人、ソレカラ又(三)ト致シマシテ、從軍記章賜與ニ關スル人員ガ五十一萬六千人ト云フコトニナッテ居リマス、ソレデ御承知ノ通り今度ノ滿洲事件ノ行賞ニ關シマシテハ、賜金ノミヲ賜ル人モアリ、又勳章ト賜金ヲ

併セテ賜ル人モアルノデアリマス、更ニ又軍人ニ付キマシテハ從軍記章ヲ取ル人モアル、斯ウ云フコトニ相成リマスノデ、此人數ハ總體ニ付キマシテハ、重複ヲシテ居ル譯デゴザイマス、左様御了承ヲ願ヒマス

○西野元君 只今ノ御説明デ、此表ガ分リニクク出來テ居ル理由ヲ能ク承知イタシマシタ、就テハ此勳章トカ賞杯トカ云フ問題ハ別ト致シマシテ、此一時期賜金トシテ交付セラレル公債、竝ニ公債端金ノ計算ヲ見マス爲ニ、此陸海軍ヲ分ケマシテノ人員ト金額、ソレニ對スル公債、斯ウ云フコトヲ極ク簡單ニ、形式ハ別ニ御註文イタサスデモ、大藏省デ相當……、斯ナニムヅカシクナクテ各省ノヲハッキリサセテ戴キタイ、豫算ト此交付公債ノ兩方ノ計數ノ聯絡ガ如何ニモ分リニククナッテ居リマス爲ニ疑ヲ生ジマスノデ、適當ナ形式デ此次マデニ御示シヲ願ヒタウゴザイマス

○政府委員(荒川昌二君) 極ク大要デゴザイマス、只今御説明申上ゲテモ宜シイト思ヒマスガ、併シ御話ノ一覽表ヲ差上ゲマシテカラ、尙ホソレニ付キマシテ詳シク申上ゲタ方が便宜ダラウト思ヒマス、左様御承知願ヒマス

○菅原通敬君 私妙ナコトヲ伺フノデスガ、世間デ云フ赤字公債ト云フ言葉ハ今ハ大藏省デモ御用ヒニナッテ居リ、先刻政府委員モ御述ベニナッテ居ル、其赤字公債ト云フノハ所謂歳入ノ補填公債ト云フ狭イ方ノ意味デ御用ヒニナル場合ガ普通デアリマス、歳入ノ不足ヲ補フ公債ト申セバ單ニ所謂歳入補填公債バカリデナイ、震災善後公債デモ、道路公債デモ、前ノ通信公債デモ皆赤字公債ニ外ナラヌノデアリマス、ソレヲ包括スルノガ本當ノ歲計上カラ見ダ所ノ適當ナ赤字公債ト思フガ、矢張り赤字公債ト常ニ言ハレテ居ルノハ狹イ意味ノ方ノコトバカリニ御考ヘニナッテ居ルノカ、或ハ歳入ノ補填ヲ總テ、名義ハ何デアラウト、法律ノ根據ハドウデアラウト、歳入不足ヲ補フ所ノ公債ハ總テ之ヲ赤字公債ト稱スルノガ適當ナヤウニ見テ居ラレルノカ、ドウ云フ風ニ見テ居ラレルノデスガ

○政府委員(津島壽一君) 只今仰セノ通り、別ニ赤字公債ト云フ特殊ナ名稱ガ法律上ナリ其他内部ノ規定ニ於テモアル譯デハアリマセヌ、是ハ一般通俗ノ觀念デ歳入ノ補填、詰リ豫算ノ辻褄ヲ合ス爲ニ發行スル公債ヲ赤字公債ト俗ニ言ッテ居ルノヲ取ッテ申上ゲタノデアリマシテ、大藏省ハ是ハ赤字公債、此程度ノモノガ赤字公債ト云フハ

キリシタ定義ハ致シテ居リマセヌ、併シ財政ノ實質カラ申シマス、只今ノ御説ノ通り、所謂歳入補填ト云フ名稱デ茲ニ掲ゲラレタモノ以外デアツテモ、或ハ財政ノ廣イ意味カラ言ヘバ、ソレニ屬スルヤウナ性質ノモノガ外ノ名義デアアルコトモアリ得ルト思ヒマス、茲ラハドウモ色ミ見方デアリマシテ、ドレヲ赤字公債ト言フカト云フコトヲ、ハッキリ決メタコトヂヤナイノデアリマシテ、先程私が申上ゲマシタノモ、俗ニ所謂ト申上ゲマシタノデ、大藏省デ赤字公債ト呼ンデ居ルト云フ譯デハナイノデアリマス

○菅原通敬君 歳入ノ辻褄ヲ合ス爲ニ必要トスル補填公債、ソレガ赤字公債デアアル、私ハ嚴格ニ言ヘバサウダト思ヒマスガ、去

リナガラ其歳入補填ノ公債ト云フコトハ他ノ名義ニ依ル公債ニ十分持ツ切ツテ、持ツシ得ナイ所ノモノヲソコニ求メテ居ル、斯ウ云フコトニナルト云フト、先程申シタ震災善後公債デモ、道路公債デモ、通信公債デモ歳入財源トシテ用ヒタ所ノモノハ、總テ其公債ハ赤字公債ト云フヤウナコトニ考ヘサセテ、財政上ノ餘リ基礎ノ上ニ於テイカスト云フコトヲ現シテ置イタ方が宜シイヂヤナイカスウ思フノデアリマス、

赤字公債ト云フモノヲ、餘リ狭ク、餘リ狭クト云フト語弊ガアリマスガ、狭イ意味ニ於テソレヲ解釋シテ居ルト云フト、單ニ其金額ガ六億シカナイト云フヤウナ風ニスルト云フト、餘リ正確ヂヤナイヤウナ風ニモ考ヘラレマスガ、ソレモ見方ト云フコトニナレバソレダケノ話デアリマスケレドモ、一體平生ノ歳入補填ノ額ガドレダケアレバ宜シイカト云フコトヲ見定メラレルニハ他ノ名義ノ付ク、法律ノ根據ノアル公債ヲ十分發行シ得ルダケ發行サセテ、其残りヲ歳入補填ノ方ノ公債ニ求メルト云フヤウナヤリ方ニナツテ居ラレルノヂヤナйкаト思ヒマスガ、ソレハドウデスカ

○政府委員(津島壽一君) 今ノ公債ヲ決定スルニ當リマシテハ大體サウ云フ譯デ、滿

洲事件ノ如キ特殊事件ハ、之ヲ歳入補填ノ數字デアアルカモ分リマセヌガ、ソレヲ滿洲事件公債ト申シマシテ、特殊ノ目的ト云フコトナシニ、單純ニ歳入歳出ノ「バランス」ヲ合ス必要上、或特殊ノ金額ガ出タ場合歳入補填公債ト云フコトニナツテ居リマス、併シ財政ノ實質カラ申シマス、矢張り確定財源デアルベキモノガ公債ニナツテ居ルト云フコトデアレバ、是ハ矢張り財政上實質トシテハ赤字ノ一種ト見マシテ、成ルベク

其金額ヲ抑ヘテ行クト云フコトニハ、是ハ努メナクテハナラヌコトデアラウト考ヘルノデアリマス

○西野元君 昭和九年ノ歳入補填公債ノ中

デ、翌年度ニ繰越サルベキモノト想像サレルモノガ凡ソドノ位デアリマセウカ、無論是ハ年度末ニ至ツテ實際ノ狀況ヲ見マセヌケレバ何人モ斷定ハ出来マセヌノデアリマスガ、毎年相當ノ金額ヲ歳入豫算ニ翌年度ニ繰越シ、從テ公債發行豫定額モ翌年度ニ延ビテ居ル譯デアリマス、ソレダケ財政上ノ關係カラ言ヘバ、資金ガアルコトと思フノデアリマス、例ヘバ只今茲ニ御提案ニナツテ居ル分竝ニ追加豫算ヲ加ヘ、九年度ノ豫定額ガ六億二三百萬圓餘アリマスガ、其中凡ソ二億トカ一億五千トカ、相當多額ノモノガ翌年度ニ繰越サルベキ傾向ヲ持ツダラウト思フノデアリマスガ、甚ダ漠然タルコトデアリマスルガ、ドンナ御見込デアリマスカ、チヨット參考ニ伺ツテ見タイト思ヒマス

○政府委員(荒川昌二君) 事實問題ト致シ

マシテ、只今御話ノ通り、毎年相當多額ノ繰越ガアリマスル結果、此財源タル公債ガ從ヒマシテ、年度ニ豫定シタモノガ十年度ニ公債ヲ募集シテ行クト云フ結果ニナラウカト思ヒマス、唯御承知ノ通り此九年度ノ豫

算ヲ執行イタシマスル場合ニ於キマシテハ、八年度ト同様ニ此歳入ノ、他ノ租稅收入トカ、其他ノ普通財源ニ依ツテ影響セラレル部分ガ可ナリアルノデアリマス、殊ニ是ハ歳入補填ノ公債デアリマスカラ、普通財源ガ相當ニ良クナリマスルト、此公債ト云フモノハ、假令是ダケ起債ノ權能ヲ得マシテモ、成ルベク最少限度ニ止メルト云フヤウナコトニ致シマスル結果、只今ノ所果シテ此中ノ一割ガ繰越サレ得ルデアラウ、或ハ二割ガ繰越サレルダラウト云フヤウナ見當ハ付キ兼ねテ居ルノデアリマス

○菅原通敬君 八年度分ノ公債未發行額ガ

三億二千萬デアアルトカ言ツテ居リマスガ、ソレカラ今ノ御話ニ依ツテ、九年度ニ於テ發行スベキ公債ガ十年度ニ繰越サルベキモノガ幾ラアルカハッキリシナイト云フコトデアリマスガ、矢張り八年度ノモノガ九年度ニ繰越サレタ位ノモノハ、九年度發行ノ分ガ十年度ニ繰越サルベキモノト見テ大體宜シイノデアリマスガ、ドウデアリマスカ

○政府委員(荒川昌二君) 八年度中ノ一般ノ歳入狀況ト申シマスガ、公債以外ノ歳入狀況ガサウデアリ、又八年度ニ於ケル歳出ノ九年度ニ繰越サレルモノガ、大體ニ於テ又九年度カラ十年度ニ繰越サレル歳出ト同

ジャウナ状態、總テノ條件ガ殆ド同ジャウデアレバ御意見ノ通りト思ヒマス、唯先程モ申上ゲマシタ通り、八年度ノ状態ガ、九年度カラ十年度ニ互リマスル状態ト違ッテ参リマス、其結果ガ少シ變ッテ來ルノデヤナイカト考ヘテ居リマス

○菅原通敬君 國庫ノ收入ノ状態ト云フモノハ、是ハマア九年ニ於テモ、十年ニ於テモ大體ニ於テ變リノ無イモノデアラウ、私ノ懸念スルノハ其國庫ノ收入ノ状態以外ニ、公債發行ノ公債市場ニ於ケル事情カラ或ハ急イデモ發行ガ出來ナイ、後ラサネバナラスト云フヤウナ事情ガ起ッテ來ルト思ハレルガ、國庫ノ必要上カラハドンナ不利益ニナル場合ニ於テモ發行シテ行クノダ、或ハ之ヲ延バシテ行クト云フコトハセスト云フコトモ亦ナケレバナラスト思フ、其邊ノコトモ是ハ將來ノ金融市場

狀況デアルカラ逆睹スルコトモ出來ナイノデアリマスガ、其邊ノ御見込ガドンナ風カト云フコトモ併セテ伺フコトガ出來レバ結構ト思ヒマス

○政府委員(荒川昌二君) 只今御話ノ通り此公債ノ募集ト云フ問題ハ、單ニ歳入歳出ノ「バランス」ヲ調節スルト云フ一點ノミデハナイノデアリマシテ、公債ヲ募集スル際

ニ於ケル市場ノ關係ト云フヤウナモノヲ考ヘマシテ、歳出ノ財源トシテハ差當リ必ズシモ今募集ヲシナクテモ宜イガ、此際募集シテ居ッタ方ガ將來ノ財政政策ト申シマスカ、其市場關係カラ言ッテ多少利益デアルト云フ見當ガ付キマス云フト、御話ノ通り翌年度デモ宜イモノヲ前年度デ募集スルトカ、或ハ前年度末デ宜イモノヲ多少數箇月前ニ募集スルト云フコトガアルノデアリマシテ、其關係ハ其時ニ應ジ多少違ッテ來ルノデハナイカト考ヘテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○西野元君 先刻私ハ昭和九年度ヨリ十年度ニ互ル關係ヲ伺ヒマシタノデアリマシタガ、大分一年モ先キノコトヲ伺ッテ、無論詳細シイコトヲ伺フ積リデハナカッタノデアリマスガ、御答ガ無カッタノデアリマス、私ハ歳入ノ狀況ニ依ル影響ヲ伺ッテ意味デハナクテ、大體毎年歳出ノ繰越ニ依ッテドノ位延ビルカト云フ一般ノ傾向ヲ伺ッテ意味デアッタノデアリマスガ、是モ詳細シイコトヲ伺フ必要ハ無イノデアリマスカラ重ネテ伺ヒマセヌガ、然ラバ當サニ年度末ニ近ヅイテ居ル此昭和八年度分ニ付キマシテハ、無論歳出ノ繰越ノ御見込モ、又歳入ノ増加ノ御見込モ大體付イテ居ル筈ト思フノデアリマ

ス、起債其モノノ關係カラ申セバ、只今政府委員ノ御答ノ通り、今目前ニ金ガ必シモ要ラナクテモ、市場ノ狀況ガ良ケレバ募集ヲシテ置クト云フコトモアリマセウカラ、起債ノ實況ガドウナルカト云フコトハ分ラヌノデアリマスケレドモ、然ラバ只今國庫ノ現計カラ見テ、昭和八年度ハ幸ニ豫算ヨリモ歳入ノ狀況ガ良イノデハナイカト思ッテ居リマス、歳入ノ増加ニ依ッテ所謂歳入不足補填ノ公債發行ノ必要無ク、止メルベキ金額、是ハ或ハ段々、段々行キマスカラ、其モノヲ止メラレマスカ、來年ノモノヲ止メラレマスカ、ソコノケデ目ハ無イト思ヒマスカラ……、結局其分ガ、發行ノ順序トシテ其法律上ノ此金額ヲ御止メニナルカ、ソレハ分リマセヌガ、歳入ガ増加シタナラバ當然公債ノ發行ヲ御見合セニナル部分ガアルコトハ、先刻ノ御説明ニ依ッテ當然ト思ヒマス、ソレト來年度、昭和九年度ニ繰越サルベキ歳出ノ御見込ハドンナコトニ大體ナッテ居リマスカ、是ハ亦國庫現計ニ付テ、サウ詳細シイコトヲ伺フト云フ意味デハナイ、現在ニ關スル限リドノ位ノ見當ヲ付ケテ居ルカト云フコトヲ参考ノ爲ニチヨット伺ッテ置キマス

○政府委員(荒川昌二君) 是モ甚ダ申譯ナ

イ次第デアリマスガ、實ハ西野サンノ御承知ノ通り翌年度ニ繰越シマスル額ガ幾許デアルカ、又歳出ノ八年度ニ於ケル不用額ノ見込ガドウ位デアルカ、又一方ニハ歳入ノ現狀ガドウ云フ風ニ動イデ居ルカト云フトヲ年度末、即チ昨今ニナリマスルト、大藏省カラ各省ニ向ッテ調査ヲシテ居ルノデアリマス、ソレデ調査ト致シマシテハ、一日早ケレバ一日早イダケ調査ハ完了イタシマスガ、一方ニ此年度末ニ近ヅケバ近ヅク程正確ナ材料ガ得ラレルノデアリマス、從ヒマシテツイ一週間前デアリマシタカノ頃カラ、各省ニ向ヒマシテ其歳出ノ見込額、又ハ翌年度繰越見込額、又一方ニハ歳入狀況ノ豫算トノ違ヒ、斯ウ云フ點ニ付キマシテ調査ヲ進メテ居ル次第デアリマシテ、極ク大體ノ數字ト申シマシテモ、チヨット申上ゲル迄ニ達シテ居リマセヌ

○委員長(侯爵松平康昌君) 御諮リ致シマスガ、本日特ニ御質問ガナケレバ、本日ハ此程度デ閉ヂタラ如何カト存ジマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○委員長(侯爵松平康昌君) 御異議ナイト認メマシテ今日ハ是ニテ散會イタシマス、次回ハ特ニ差支ノ無イ限リ月曜日午前十時

カラ續イテ開キタイト思ヒマス

午前十一時十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵松平 康昌君

副委員長 西野 元君

委員

子爵舟橋 清賢君

子爵綾小路 護君

男爵井田 磐楠君

男爵深尾隆太郎君

菅原 通敬君

佐々木八十八君

澁澤 金藏君

政府委員

大藏省理財局長 津島 壽一君

大藏書記官 荒川 昌二君